



報道関係者 各位



平成 30 年 12 月 27 日 (木)

【照会先】

雇用環境・均等部企画課

企画課長 服部 善寛

課長補佐 柴田 直彦

(代表電話) 052(972)0252

## 特別プログラム「A I C H I W I S H」の取組状況について

愛知労働局（局長 高崎真一）では、企業の実情に応じた「働き方改革」を進めることにより「魅力ある職場づくり」を実現し、職場環境や待遇の改善などから人材の確保にも繋がっていくように、その後押しをするための特別プログラム「A I C H I W I S H」を実施しておりますが、その取組状況についてお知らせします。

### 取組の状況

- 1 「A I C H I W I S H」を使った求人充足サービスの事例について
- 2 「A I C H I W I S H企業」認定について
- 3 「働き方改革」推進企業について

#### 1 「A I C H I W I S H」を使った求人充足サービスの事例について

##### 【事例紹介】

「A I C H I W I S H企業」医療法人杏園会

- ・介護職員の身体的負担（職場での腰痛予防対策）を軽減するため、人材確保等支援助成金を活用して介護福祉機器（特殊浴槽）を導入し労働環境を改善するなどして「魅力ある職場づくり」に取り組んでいる企業に対する求人充足サービスの実施状況です。

#### 2 「A I C H I W I S H企業」認定について

新たな企業認定 8 企業（12月20日現在 59 企業）

#### 3 「働き方改革」推進企業について

新たな企業認定 28 企業（12月20日現在 119 企業）

# 「AICHI WISH」を使った求人充足サービスの事例紹介

「AICHI WISH企業」→働き方改革に関する設備投資★★ファミリー・フレンドリー企業★

## 医療法人 杏園会

### 1 企業が抱える問題

- ①リハビリテーション病院、介護老人保健施設等を運営しているが、医療・介護の現場は重労働で、夜勤があるため体力的にきついのイメージがあり事業を運営していくにあたり、人材確保や育成が課題。
- ②少子高齢化という人口構造の変化などにより、医療・介護制度のあり方も大きく変化してきており、医療・介護の現場においては、介護職員の数はそのものは増えているが、介護される高齢者の数も増え施設を利用するニーズの高まりもあり人手不足が深刻な問題。
- ③正職員、パート職員を含め女性職員の比率が高く、育児と仕事の両立による職場定着が課題。



【熱田リハビリテーション病院】



【老人保険施設あんず】



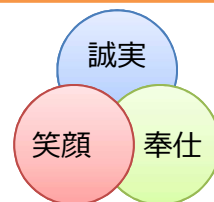
業種：病院、  
介護老人保健施設  
従業員：約720名

### 2 企業トップの決断

人の命に寄り添う仕事。安心して安全な医療・介護サービスを提供。



職員一人一人を大切に、働きやすい魅力のある職場環境を整備し  
奉仕の心で職務に就き、誠実さと笑顔で活気ある職場作りをめざす。



#### ① 介護福祉機器導入で労働環境を改善！

- 介護職員の身体的負担（職場での腰痛予防対策）を軽減するため、人材確保等支援助成金（※）を活用して介護福祉機器（特殊浴槽）を導入。職員に優しい魅力ある職場環境を整備。

#### ② 子育て家庭を支援し人材確保！

- 法定を超えた育児短時間勤務制度（小学校就学まで）、子の看護休暇・介護休暇が有給扱い、配偶者出産時の特別休暇、出産・育児・介護等で一度離職した職員を優先的に受け入れる再雇用制度。

#### ③ 職員のモチベーションを高め、優秀な人材を確保！

- キャリアラダー支援システムを導入し、職員が保健、医療、福祉の専門家を目指し、意欲を持って仕事に取り組めるよう支援。



### 3 「AICHI WISH」の求人充足サービス

働き方改革を頑張る  
企業を応援します！



#### 【10月3日】AICHI WISH事業を知る

- 求人募集（介護職員等）するためハローワークの窓口で相談。職員からAICHI WISH事業について説明を受けたところ、認定項目に該当する働き方改革を実施していることがわかり、優遇求人充足サービスの支援を受けるため申請について検討することとなる。

#### 【10月10日】AICHI WISH企業として認定

- 介護職員の負担軽減のため介護福祉機器を導入したこと（働き方改革に係る設備投資）及び愛知県ファミリーフレンドリー企業により、AICHI WISH企業として認定し優遇求人充足サービス開始。（11月13日、名古屋国際会議場で開催された介護・看護・保育就職面接会へ参加）

#### 【12月20日】ハローワークの支援で必要な人材の確保に繋がる

- 認定前の応募者は数名であったが、**認定後2か月の間に11名の応募があり、3名を採用**（介護職員等）引き続きハローワークでは応募者を募り、求人充足サービスを提供。

### ※「人材確保等支援助成金」（介護福祉機器助成コース）について

応援レシピNO.63でも  
紹介しています！

介護労働者の身体的負担を軽減するため新たな介護福祉機器の導入等を通じて従業員の離職率の低下に取り組む介護事業主に対する助成金です。

#### 【支給のための要件】

- 機器導入助成：①介護労働者の労働環境の改善に資する介護福祉機器の導入・運用計画を作成し、管轄の労働局長の認定を受けること。②認定された導入・運用計画に基づき機器を導入し、その機器の適切な運用を行うための措置を実施すること。
- 目標達成助成：離職率を目標値以上に低下させること。なお、離職率は30%以下とすること。

#### 【対象となる介護福祉機器】

- ①移動・昇降用リフト ②装着型移乗介助機器 ③自動車用車いすリフト ④エアーマット  
⑤特殊浴槽 ⑥ストレッチャー（1品10万円以上）

#### 【助成額】

- 機器導入助成：機器の導入費用の25%（上限150万円）
- 目標達成助成：機器の導入費用の20%（生産性要件を満たす場合35%）（上限150万円）

当該助成金の概要は上記のとおりですが、助成金受給には一定の要件がありますので、詳細につきましては、愛知労働局職業安定部職業対策課あいち雇用助成室 TEL 052-219-5518 まで、お問い合わせください。

## ノーリフトで抱え上げない介護を



～高齢者雇用に関する工夫～

①

先日、入居者を抱え上げた際に腰を痛めた従業員が退職してしまった。これで、また人手が足りなくなった。

お困りのようですね。人手不足解消には、世代を超えて幅広く採用しなければなりません。たとえば、高齢者の方はいかがでしょうか。

なかなか人が集まらないのよ

②

介護は人を抱え上げなければならないし、高齢者の方は体力が落ちていることもあるから、身体がもたないんじゃないの？

そうとも限りません。

つぎまらないう

③

今の介護業界では、業務を起因とした腰痛が問題になっており、各社様々な対策を行っています。その対策のひとつに人の力だけで抱え上げない「ノーリフト」という手法があります。御社でも取り入れてみてはどうでしょうか。

なるほど

ノーリフトで安心して働けます

④

人の力を極力利用せずに介護が行える設備を導入したところ、誰でも腰痛の心配なく働く環境が整備されました。また、弾力的に働ける環境も整備し、求人票でアピールしたところ、高齢者層からの申し込みも増えました。

高齢者層からの応募が殺到！

◇：高齢者らを車いすやベッドから移す際、リフトなどの福祉用機器を適切に使い、介護する側、される側の双方の負担を軽くする手法

### 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」「定年延長★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：介護業 従業員数：41名

介護業界における業務を起因とした腰痛の対策並びにどの世代でも働きやすい環境を整備するため「ノーリフト」手法の導入に取り組んだ。

#### <腰痛対策に新手法導入>

○ノーリフトを実施するための介護福祉機器を導入※。

#### <勤務時間制度の弾力化>

○従業員の希望に応じて、短時間勤務や休日日数を弾力的に変更できるようにし、求職者のライフスタイルに応じた働き方を可能とした。



人の手を使わない介護の導入

#### 【65歳超雇用推進助成金】

○高年齢者雇用環境整備支援コース

設備導入経費を助成！

助成率 最大75%

上限額 最大1,000万円

○65歳超継続雇用促進コース

定年年齢引上げに助成！

1人当たり最大60万円（年度あたり10人まで）

【人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース）】

導入助成 助成率 最大25%（上限150万円）

目標達成助成 助成率 最大35%（上限150万円）

◆常時使用労働者数や生産性要件等により助成率が変化する等、一定の要件があります。

- ・高年齢者層の就労環境を整えると同時に、定年年齢を引き上げる※ことで、様々な世代からの求人応募が増え、人材確保につながった。
- ・ノーリフトを導入することにより、介護の質の向上につながり、顧客満足度が向上した。
- ・ベテランの経験を若手社員に継承することで、人材育成にもなった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatotoyo@aichi-sr.com